

止めるのは今!

税金73億円の無駄遣いのマンション建設による再開発

旧ヤナゲン本店を
図書館・児童館に!!

マンション建設による再開発は時代遅れの手法!

現在、個人10名、法人6社で「大垣駅南前地区市街地再開発準備組合」が約120戸が入る17階建ての高層マンションを建設する再開発事業を計画しています。第一街区は住宅マンション、店舗、(食品スーパー)、事務所等、西側の第二街区は駐車場、第三街区は6階建ての福祉施設を整備する予定です。総事業費は約150億円です。そのうち税金73億円(国と県からの補助金43億円弱、大垣市の補助金30億円)です。令和8年度解体着工、令和11年度完工予定です。大垣市は令和7年度予定の、建築設計、地盤調査、権利変換計画の作成ほか3億1,200万円の予算を計上し、令和7年3月18日に大垣市議会において賛成多数で可決されました。中止するには時間がありません。

マンション建設のために
大垣市民一人当たり
約4万5千円の税金を
負担することにな
るんだね。

私の
提案

現在の旧ヤナゲン本店の建物は平成元年に建て直してあり、耐震は大丈夫です。また、構造はRCではなく鉄骨作りなので、改造は可能です。市民のための図書館や児童館や大学のサテライト教室に「居抜き」で格安に改造できます。岐阜県の都城市は中心市街地にあった撤退した百貨店(ショッピングモール)を「居抜き」で図書館にリノベーションし、子育て世代をはじめ若い人など多世帯が集う施設になっています。今こそ、1階は生鮮食品のスーパーマーケットに2, 3, 4階には世代別児童館、5, 6階は図書館、7階は学生の自習室・市民活動センターや大学のサテライト教室に、8階屋上は子どもの遊び場にリノベーションしてはどうでしょうか?大垣共立銀行はそのまま旧ヤナゲン本店建物と第二街区の駐車場を利用します。はるかに安い費用でできます。図書館や児童館は「普遍的集客装置」です。



*イラストはイメージです。

赤鉛筆

止めるのは今!

旧ヤナゲン本店のマンション建設のよる再開発と大垣西IC付近の「道の駅」建設が進もうとしています。更に、大垣城ホールの建設費や土地買収費に約70億円以上が見込まれます。現在、大垣市の公債費(借金)は、約600億円です。このまま大型プロジェクトが続きますと公債費(借金)が約700億円に膨らむと予想されます。そうすると、借金返済額が増え、市民サービスが低下します。大型プロジェクトより福祉や子育て支援に予算を付けるべきです。市長が判断すれば止めることはできます。

『中止できるのは市長です!』

